

第3種郵便物認可

技術
森林
コンテスト

ひむか維森の会 最優秀

本県
NPO
伐採搬出規定に評価

県は7日、第55回森林技術コンテスト（日本森林技術協会主催）で、本県の若手林業者らでつくるNPO法人ひむか維森の会（松岡明彦代表理事）が最優秀の林野庁長官賞を受けたと発表した。環境に配慮して独自に策定した林業の指針「伐採搬出ガイドライン」が高い評価を受けた。

森林技術コンテストは5月26日に東京都内であり、全国

から推薦を受けた10団体が研究の成果を発表。4団体が受賞した中でひむか維森の会が唯一、民間から選ばれた。

伐採搬出ガイドラインは、伐採に伴う山林の荒廃を防ぐ目的で2008年5月に策定。「傾斜35度以上の急傾斜地など崩壊の危険が大きい場所での作業道、切り出した材木を集める土場の開設は避ける」「10秒を超える伐採では、場所や時間を分散させる

ことが可能か検討」「伐採跡地を森林の更新が進みやすい状態で残す」など76項目の規定を設けている。

同会は07年3月に設立、素材生産業者や大学研究者らによって構成されている。木材を伐採したまま再造林せずに放置している森林が目立っていたことから、伐採のルール化に向けて協議を進めてきた。今後はガイドラインを定着させるため、認証化制度を

進めたい考え。

松岡代表理事は「民間によるガイドラインの策定、地道な普及活動への取り組みが評価された。一般の人も林業を知ってもらうために努力していきたい」と話していた。